



第2次旭市定住自立圏 共生ビジョン

計画期間 平成28年度 ~ 平成31年度



平成28年3月
千葉県旭市
(平成29年3月 一部変更)

目 次

1. 定住自立圏及び市町村の名称と位置	1
2. 圏域の現状と課題	2
(1) 圏域の現状	2
(2) 圏域全体の人口の推移と課題	6
3. 圏域の将来像	7
4. 定住自立圏共生ビジョンの体系図	8
5. 定住自立圏共生ビジョンの期間	8
6. 定住自立圏形成方針に基づき推進する具体的取組	9
(1) 生活機能の強化のための取組	9
ア 医療・福祉	9
イ 教育	17
ウ 産業振興	21
(2) 結びつきやネットワークの強化のための取組	29
ア 地域公共交通・交通インフラ	29
イ 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消	32
ウ 地域内外の住民との交流・移住推進	34
エ 都市機能強化	45
(3) 圏域マネジメント能力の強化のための取組	46
ア 人材の育成・交流	46
7. 第2次共生ビジョン事業一覧	52

1. 定住自立圏及び市町村の名称と位置

- ・ 定住自立圏の名称

旭市定住自立圏

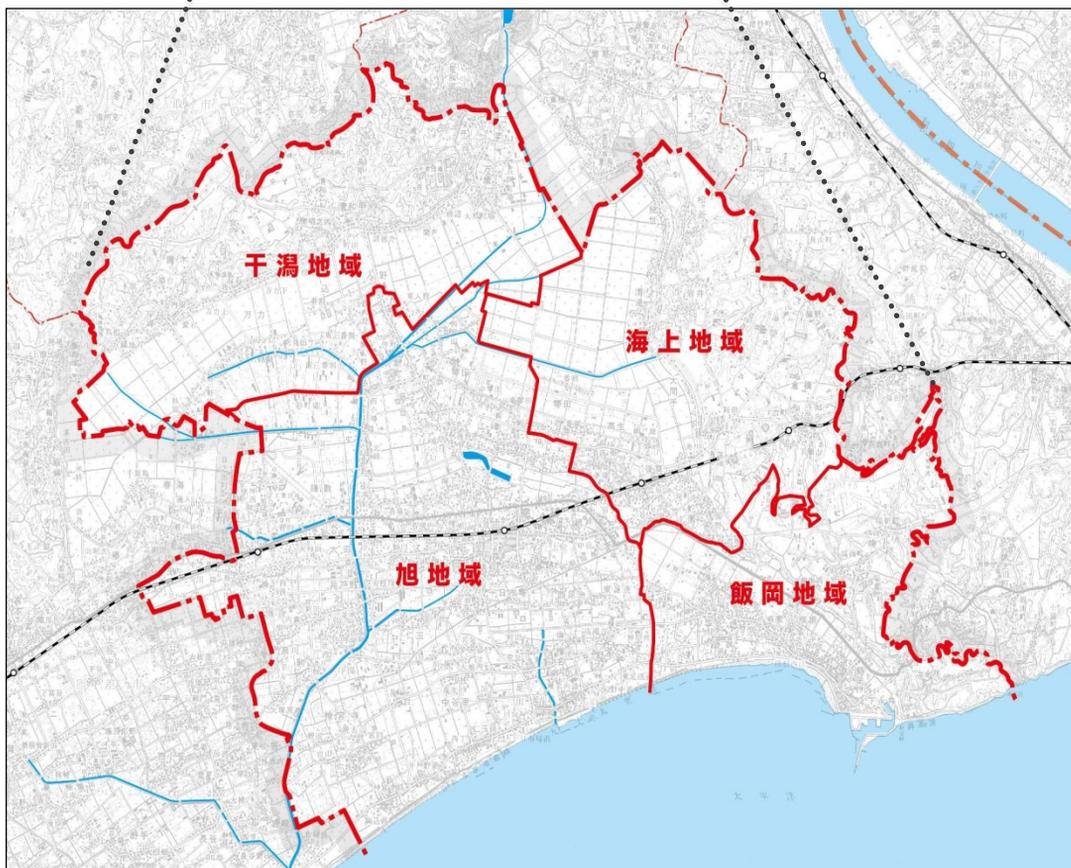
- ・ 定住自立圏を形成する市町村の名称と位置

千葉県旭市（旭地域、海上地域、飯岡地域、干潟地域）

出典：旭市公式サイト



旭市定住自立圏



2. 圏域の現状と課題

(1) 圏域の現状

【圏域の概況】

当圏域は千葉県の北東部に位置し、千葉市から50km圏、東京都心から80km圏、また、成田国際空港からは25km圏に位置しています。南部は美しい弓状の九十九里浜に面し、北部には干潟八万石と呼ばれる房総半島屈指の穀倉地帯となだらかな丘陵地帯である北総台地が広がっています。

圏域を構成する旭地域(旧旭市)、海上地域(旧海上町)、飯岡地域(旧飯岡町)、干潟地域(旧干潟町)は、平成17年7月1日に広域合併しましたが、この旧1市3町は合併以前より地理的・歴史的にも、また、経済・文化・生活の面でも深い結びつきを有してきました。

地理的には、九十九里浜の海浜や緑豊かな田園景観と北総台地など、恵まれた自然環境を基盤としてきました(図1)。交通面では、圏域を横断する国道126号を中心に、県道、東総広域農道等が道路網の骨格をなし、日常生活圏として一体化しています(図2)。都市施設は、医療・福祉、商業、文化等の各種施設が圏域内に集積しており、新たに道の駅「季楽里あさひ」も建設されたところです。(図3)

広域行政の取組としては、一部事務組合による病院・消防・ゴミ処理など、住民生活の安全・安心に関する事業の連携強化と一体的な進行を図ってきました。

特に旭中央病院は、全国的にもトップクラスの評価を得ている公立病院で、圏域はもとより隣接地域、県内外を含めて診療圏人口100万人を擁しています。

合併後は、圏域の均衡ある発展に取り組んできたところですが、10年が経過し、少子高齢化対策や雇用確保が喫緊の課題となっていることを踏まえ、各地域の連携をさらに強化し、一体感の醸成を進め、圏域の活性化を図る必要があります。

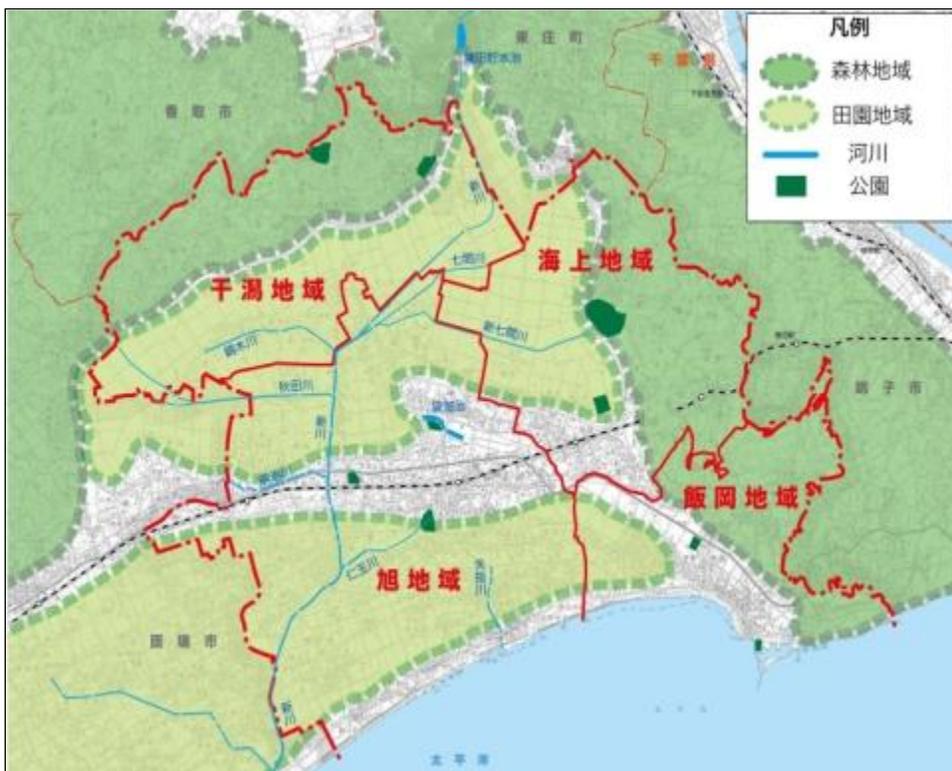


図1：自然環境の分布図



図2：交通体系図

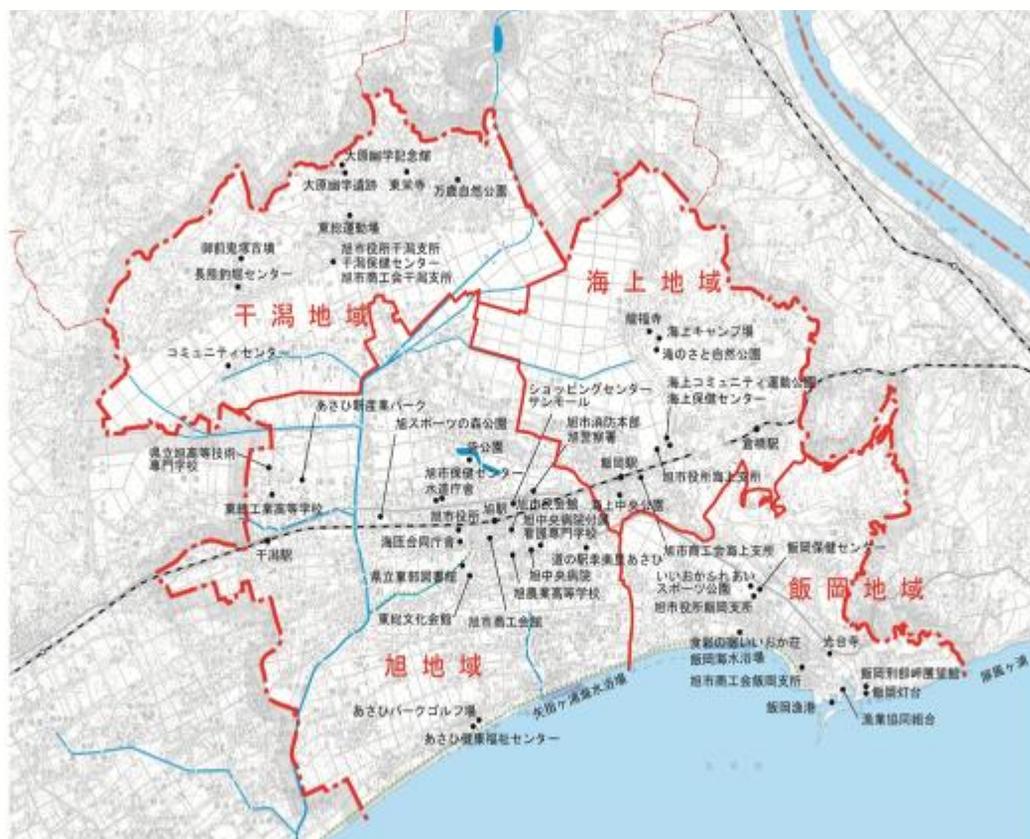


図3：都市施設の分布図

【圏域の人口・世帯】

当圏域の人口は、S45(1970年)の61,136人からH7(1995年)の71,382人までは増加を続け、約10,000人増えています。しかし、H7(1995年)をピークに減少し、合併したH17(2005年)の人口は70,643人で、H7(1995年)と比較すると約700人減少となっています。

一方で、世帯数は、増加を続けており、核家族化が進んでいます。

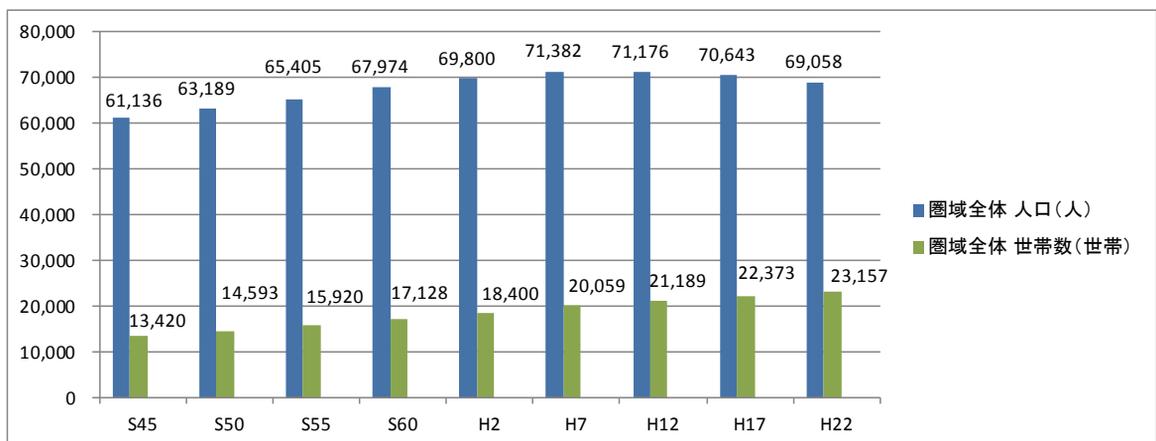
○人口と世帯数(旧1市3町別)

旧旭市と旧海上町の人口は、平成7年までは微増傾向でその後概ね横ばいで推移しており、旧飯岡町と旧干潟町の人口は、減少傾向にあります。一方、世帯数は全体的に増加傾向にあります。

		S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22
旧旭市	人口(人)	32,085	34,028	35,721	37,522	38,906	40,486	40,963		
	増減率		6.1%	5.0%	5.0%	3.7%	4.1%	1.2%		
	世帯数(世帯)	7,290	8,188	9,076	9,930	10,697	11,884	12,719		
	増減率		12.3%	10.8%	9.4%	7.7%	11.1%	7.0%		
	世帯当たり人員数(人/世帯)	4.40	4.16	3.93	3.78	3.64	3.41	3.22		
	増減率		-5.5%	-5.5%	-3.8%	-3.7%	-6.3%	-5.6%		
旧海上町	人口(人)	8,517	9,013	9,542	10,107	10,718	11,038	11,062		
	増減率		5.8%	5.9%	5.9%	6.0%	3.0%	0.2%		
	世帯数(世帯)	1,746	1,925	2,211	2,435	2,738	3,012	3,210		
	増減率		10.3%	14.9%	10.1%	12.4%	10.0%	6.6%		
	世帯当たり人員数(人/世帯)	4.88	4.68	4.32	4.15	3.91	3.66	3.45		
	増減率		-4.1%	-7.7%	-3.9%	-5.8%	-6.4%	-5.7%		
旧飯岡町	人口(人)	11,307	11,174	11,222	11,425	11,312	11,129	10,916		
	増減率		-1.2%	0.4%	1.8%	-1.0%	-1.6%	-1.9%		
	世帯数(世帯)	2,568	2,647	2,791	2,933	3,124	3,227	3,320		
	増減率		3.1%	5.4%	5.1%	6.5%	3.3%	2.9%		
	世帯当たり人員数(人/世帯)	4.40	4.18	4.02	3.90	3.62	3.45	3.29		
	増減率		-5.0%	-3.8%	-3.0%	-7.2%	-4.7%	-4.6%		
旧干潟町	人口(人)	9,227	8,974	8,920	8,920	8,864	8,729	8,235		
	増減率		-2.7%	-0.6%	0.0%	-0.6%	-1.5%	-5.7%		
	世帯数(世帯)	1,816	1,833	1,843	1,830	1,841	1,936	1,940		
	増減率		0.9%	0.5%	-0.7%	0.6%	5.2%	0.2%		
	世帯当たり人員数(人/世帯)	5.08	4.90	4.84	4.87	4.81	4.51	4.24		
	増減率		-3.5%	-1.2%	0.6%	-1.2%	-6.2%	-6.0%		
圏域全体	人口(人)	61,136	63,189	65,405	67,974	69,800	71,382	71,176	70,643	69,058
	増減率		3.4%	3.5%	3.9%	2.7%	2.3%	-0.3%	-0.7%	-2.2%
	世帯数(世帯)	13,420	14,593	15,920	17,128	18,400	20,059	21,189	22,373	23,157
	増減率		8.7%	9.1%	7.6%	7.4%	9.0%	5.6%	5.6%	3.5%
	世帯当たり人員数(人/世帯)	4.56	4.33	4.11	3.97	3.79	3.56	3.36	3.16	2.98
	増減率		-4.9%	-5.1%	-3.4%	-4.4%	-6.2%	-5.6%	-6.0%	-5.4%

出所: 国勢調査

※ 合計には「不詳」を含む



【圏域の人口（年齢3階層別人口）】

当圏域の年齢3階層別人口では、0～14歳の人口（年少人口）は、S45(1970年)の14,725人が合併したH17(2005年)には9,750人となり、約5,000人減少しています。

15～64歳の人口（生産年齢人口）は、S45(1970年)の40,752人がH17(2005年)には45,232人となり、約4,500人増加しています。

65歳以上の人口（老年人口）は、S45(1970年)の5,659人がH17(2005年)に15,645人となり、約10,000人増加しています。

このことから、高齢化率は年々上昇しており、一方若年層の世代は減少しているため少子高齢化が進んでいます。

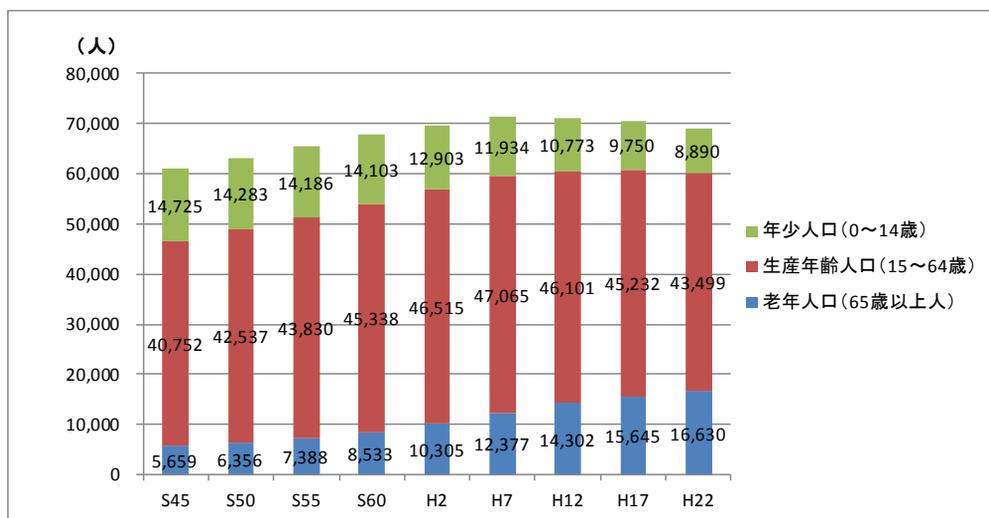
○年齢3階層別人口の推移(旧1市3町別)

旧1市3町ともに、S45とH12年の65歳以上人口を比較すると2倍以上に増加しています。圏域全体のS45とH22年の65歳以上の人口の比較では約3倍に増加しています。一方で、0～14歳の若年層は急激に減少しています。

		S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22
旧旭市	65歳以上(人)	2,742	3,203	3,703	4,283	5,288	6,535	7,796		
	15～64歳(人)	21,646	22,939	24,066	25,423	26,465	27,310	26,956		
	0～14歳(人)	7,697	7,873	7,951	7,816	7,125	6,635	6,211		
	計(人)	32,085	34,028	35,721	37,522	38,906	40,486	40,963		
旧海上町	65歳以上(人)	841	903	1,057	1,247	1,506	1,784	2,057		
	15～64歳(人)	5,564	6,053	6,312	6,606	7,072	7,259	7,196		
	0～14歳(人)	2,112	2,057	2,173	2,254	2,140	1,995	1,809		
	計(人)	8,517	9,013	9,542	10,107	10,718	11,038	11,062		
旧飯岡町	65歳以上(人)	1,031	1,108	1,337	1,556	1,805	2,110	2,349		
	15～64歳(人)	7,418	7,515	7,540	7,625	7,468	7,190	6,979		
	0～14歳(人)	2,858	25,551	2,345	2,244	1,990	1,829	1,588		
	計(人)	11,307	11,174	11,222	11,425	11,312	11,129	10,916		
旧干潟町	65歳以上(人)	1,045	1,142	1,291	1,447	1,706	1,948	2,100		
	15～64歳(人)	6,124	6,030	5,912	5,684	5,510	5,306	4,970		
	0～14歳(人)	2,058	1,802	1,717	1,789	1,648	1,475	1,165		
	計(人)	9,227	8,974	8,920	8,920	8,864	8,729	8,235		
圏域全体	老年人口(65歳以上人)	5,659	6,356	7,388	8,533	10,305	12,377	14,302	15,645	16,630
	生産年齢人口(15～64歳)	40,752	42,537	43,830	45,338	46,515	47,065	46,101	45,232	43,499
	年少人口(0～14歳)	14,725	14,283	14,186	14,103	12,903	11,934	10,773	9,750	8,890
	計(人)	61,136	63,189	65,405	67,974	69,800	71,382	71,176	70,643	69,058

出所：国勢調査

※ 合計には「不詳」を含む



(2) 圏域全体の人口の推移と課題及び将来像人口等

当圏域の総人口は、旭市人口ビジョンによると、平成7年(1995年)の71,382人をピークに減少し、平成22年(2010年)の国勢調査では69,058人となっています。

また、国立社会保障・人口問題研究所(以下、社人研)が平成25年3月に公表した人口推計によると、平成32年(2020年)には63,938人となり、平成52年(2040年)には51,540人(平成22年国勢調査と比較し約17,500人の減)まで減少すると予測されています。

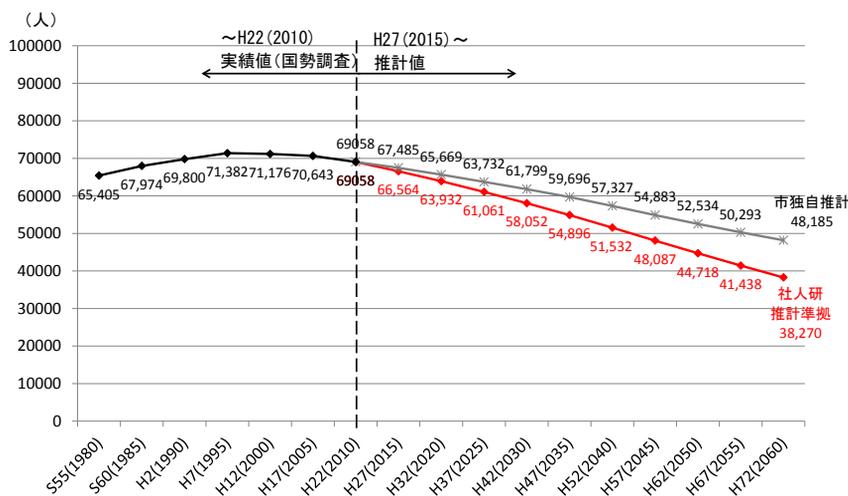
旭市人口ビジョンより、本圏域の人口減少の理由として、社会減による影響よりも自然減による影響が大きいことから、出生率の向上による自然動態の改善を図っていくことが重要となります。それとともに、移住・定住人口の増加による社会動態を改善していき、人口減少に歯止めをかけ、人口構造の若返りを図る必要があります。

人口減少問題は、産業振興や医療・福祉、コミュニティの衰退等、社会基盤そのものにかかわる大きな問題であるため、将来を見据えた、持続可能なまちづくりのために長期的な視点を持ちながら、人口増加につながる施策に取り組む必要があります。

このことから、圏域における目標人口及び高齢化率については以下のとおり設定します。

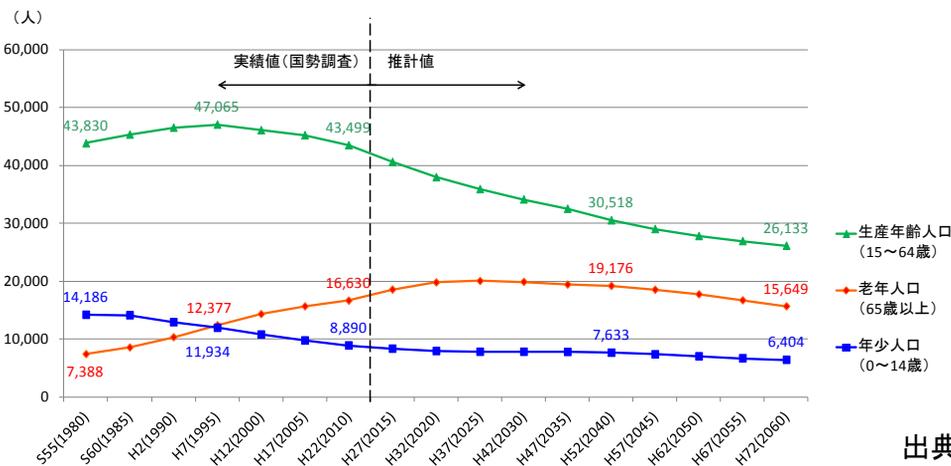
	平成27年	平成37年(目標)	平成52年(目標)
圏域人口	67,485人	63,732人	57,327人
高齢化率	27.5%	31.4%	33.5%

将来人口の推計(総人口の推移)



出典: 旭市総合戦略

将来人口の推計(年齢3区分別人口の推移)



出典: 旭市総合戦略

3. 圏域の将来像

当圏域は平成17年の広域合併を経て、都市の規模・能力は大きく向上し、マネジメント主体の充実が図られたことにより、もとより連携のあった各地域の結びつきをさらに強化し、広域的な地域活性の取組を進める体制が整ったと同時に、圏域内で各人のライフステージやライフスタイルに応じた選択肢を備えることが可能となったところです。

一方で、全国的な問題となっている人口減少は、当圏域においても例外ではなく、平成22年(2010年)の国勢調査では69,058であった人口が、社人研推計を準拠した数値では、平成72年(2060年)には38,270人となり、約3万人減ってしまうと推計されています。

このことから、今後も、引き続き「自立」、「共生」、「協働」による地域活性化を図ることが重要になります。また、旭市総合戦略と連携・補完し、様々な施策を推進していくことで、さらに効果的なものとし、圏域全体としての魅力を高めていきます。

そのために、各地域が相互に役割分担し、圏域全体の生活機能の集約化・ネットワーク化を促進するとともに、圏域全体の総合的なマネジメントを行い、医療・福祉・教育等のさらなるサービスを提供していきます(図4)。

これらにより、市民の誰もが健康で安心・安全に暮らし、住みよく、一体感と絆のあるまちを目指し、当圏域の将来像を旭市総合戦略と同じく「郷土愛からつなぐ未来 ず〜っと大好きなまち旭 ず〜っと大好きなまち旭」として掲げ、その実現に向け、各施策に取り組みます。

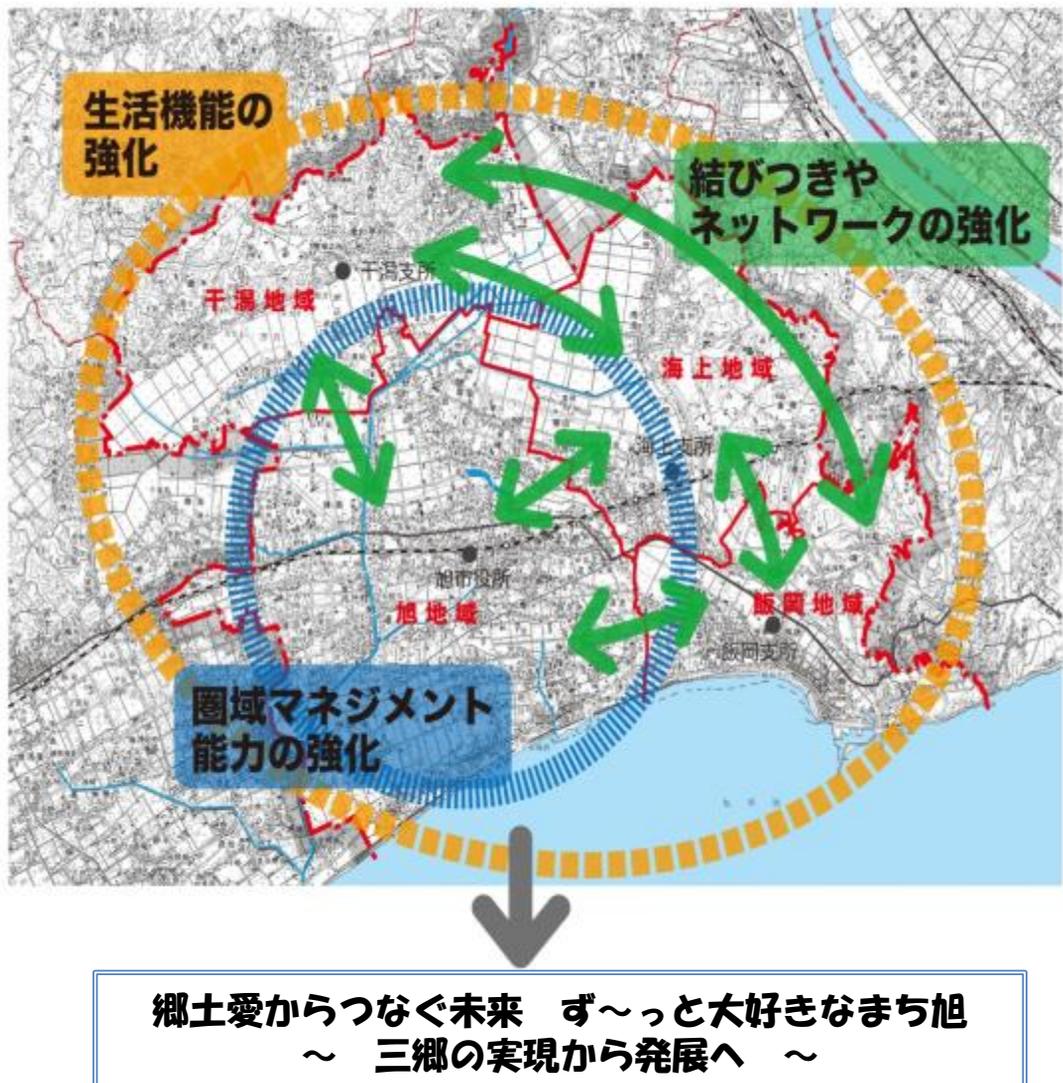


図4：旭市定住自立圏イメージ

4. 定住自立圏共生ビジョンの体系図

旭市定住自立圏は、「生活機能の強化」「結びつきやネットワークの強化」「圏域マネジメント能力の強化」を下の図5の取組によって進めていきます。

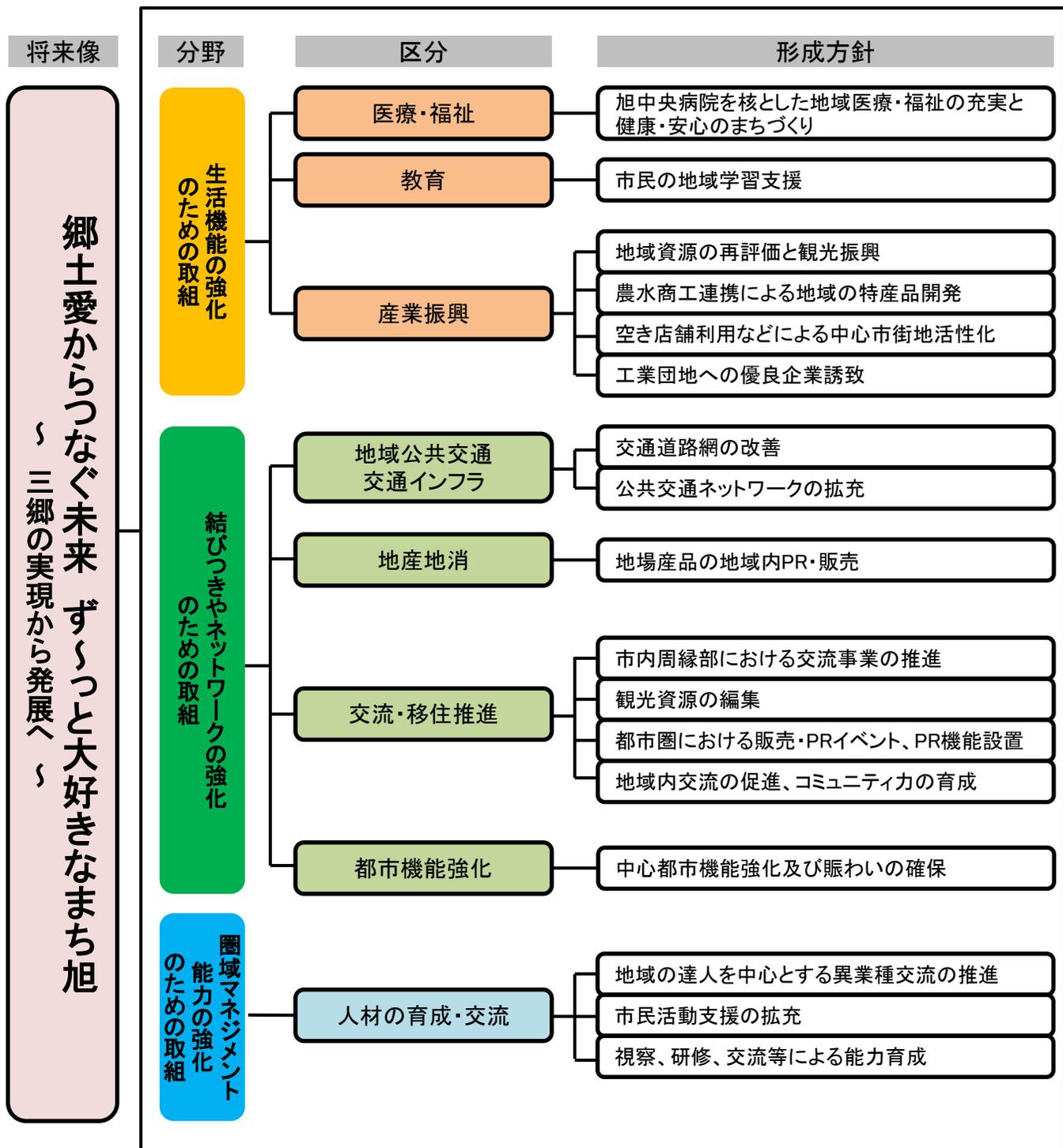


図5：旭市定住自立圏取組体系図

5. 定住自立圏共生ビジョンの期間

平成28年度から平成31年度までの4年間とします。

ただし、毎年度所要の変更を必要に応じて行うものとします。

6. 定住自立圏形成方針に基づき推進する具体的取組

(1) 生活機能の強化のための取組

ア 医療・福祉

【形成方針】

(ア) 旭中央病院を核とした地域医療・福祉の充実と健康・安心のまちづくり

東総地域の中核病院である旭中央病院及び周辺の福祉関連施設一帯を医療・福祉拠点として位置づけ、「健康都市」を支える医療・福祉サービスの充実を目指し、設備や機能のさらなる充実、周辺の診療所等との連携の促進、利用しやすい交通アクセスの検討等を進める。

事業名 (区分:(1)-ア-(ア))	(1)旭市生涯活躍のまち構想					【実施地域】 旭地域
【事業概要】 健康時から地方に移住し、安心して生涯を過ごすための質の高い医療・介護等のサービスが受けられる体制を構築するため、旭中央病院周辺にヘルスケア産業等の集積を促進する。 このことにより、地域包括ケアシステムの充実を図るとともに、関連事業者の誘致を行っていく。					【国県補助事業等】	
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)	
	移住相談件数	10件(H26)			30件	
	ヘルスケア関連事業者新規進出数	0件(H26)			1件	
事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)	
	9,720	10,000	10,000	10,000	39,720	

【地域間の役割分担に係る基本的な考え】

- 旭地域
構想の拠点として、旭中央病院や道の駅と連携した、防災機能も含めた多機能拠点として整備を進めていく。
- 海上、飯岡、干潟地域
構想の実現に向け、連携・協力を図っていく。



旭市生涯活躍のまち
機能イメージ図

【事業概要】

- ・地域包括支援センター運営事業
高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員が連携し、総合相談支援、権利擁護、介護予防事業、介護予防ケアマネジメント、さらには認知症に対する施策や生活支援コーディネーターの配置など、生活支援・介護予防サービスの包括的・継続的なマネジメントを実施します。
- ・在宅介護支援センター運営事業
在宅の支援を必要とする高齢者や家族の方が、ニーズに応じた各種の保健福祉サービスを総合的に受けられるよう、身近なところで介護に関する総合的な相談に応じ、関係機関との調整等を行います。

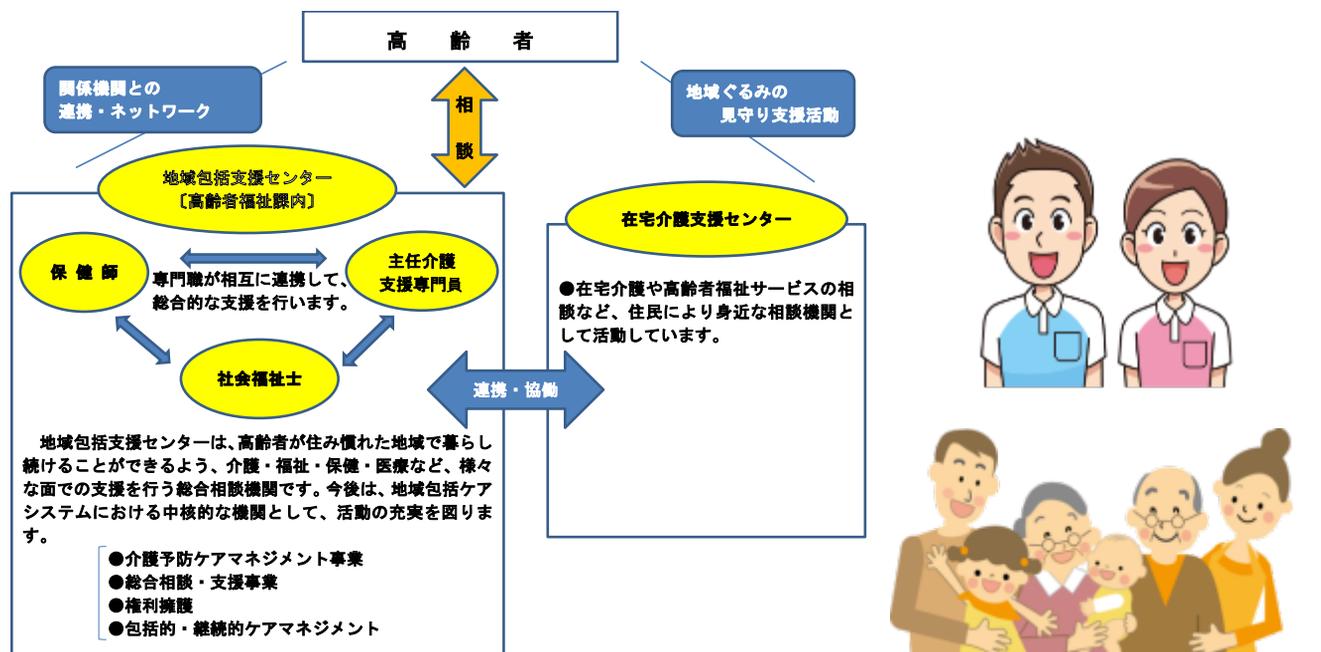
【国県補助事業等】
国、県地域支援事業交付金
(国:39/100補助、
県:19.5/100補助)

重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)
	総合相談件数	2,819件(H26)			3,400件

事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)
	7,660	7,660	7,660	7,660	30,640

【地域間の役割分担に係る基本的な考え】

- ・旭地域
地域包括支援センターと在宅介護支援センターを設置し、圏域全体の高齢者総合相談及び介護予防事業を実施するとともに、在宅介護支援センターの指導、支援を行うことで、圏域全体を等しくフォローしていく。
- ・海上、飯岡、干潟地域
在宅介護支援センターを設置し、地域内の高齢者に対し介護保険サービスや保健福祉サービスの情報提供と適切な利用の指導をするとともに、相談業務等を24時間体制で実施する。



地域包括支援センター概要図

事業名 (区分:(1)-ア-(ア))	(3)ICTを活用した地域連携の推進	【実施地域】 旭、海上、飯岡、 干潟地域
【事業概要】 電子カルテの接続による旭中央病院での診療内容を開業医側で確認できる環境づくりにより、患者への質の高いシームレスな医療連携体制を構築するとともに、かかりつけ医の促進を図る。 検査予約システムによる旭中央病院の高額医療機器を共同利用することで、精度の高い検査を提供でき、地域医療連携を促進する。		【国県補助事業等】

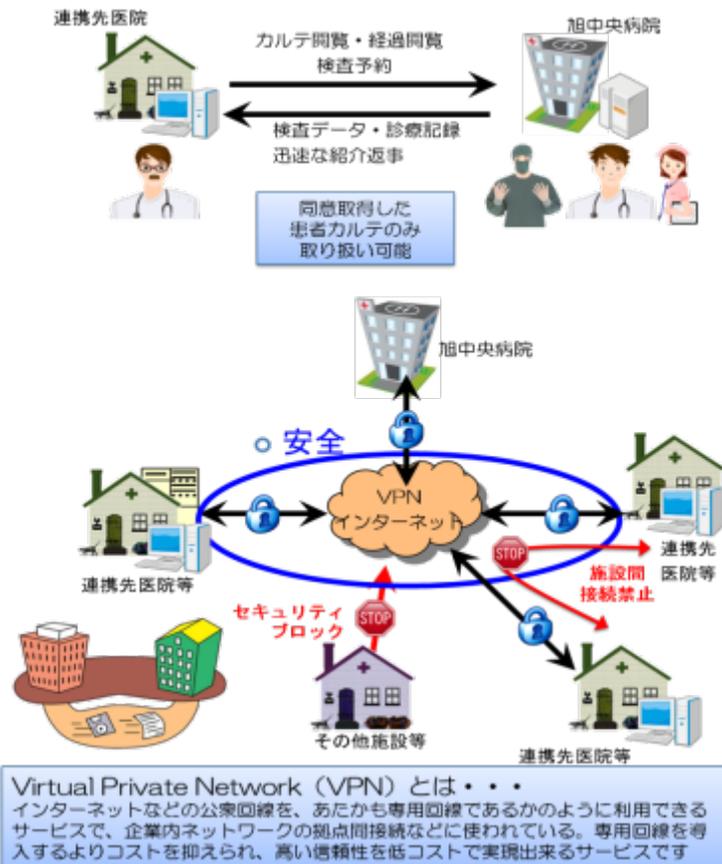
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)
	紹介率	37.4%(H27)			50%
	逆紹介率	39.8%(H27)			70%

事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)
	2,000	2,000	2,000	2,000	8,000

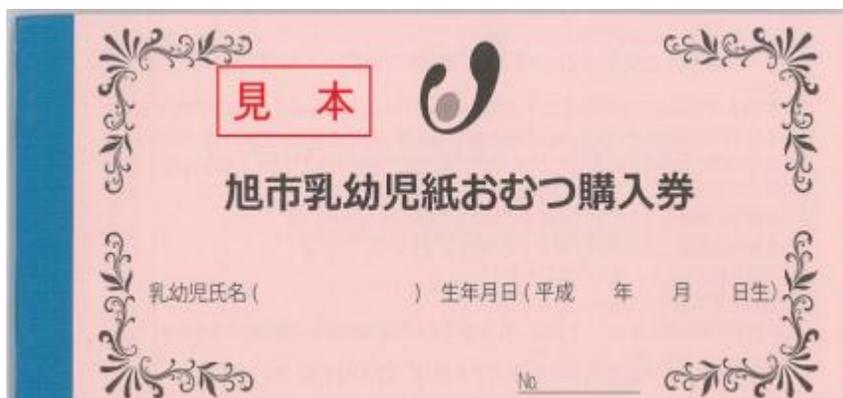
【地域間の役割分担に係る基本的な考え】

- 旭地域
 通常の外来は地域のクリニックで行い、高度な医療サービスを旭中央病院で担うことで、医療資源を有効に活用する。
- 海上、飯岡、干潟地域
 医療連携を進めることで、安全・安心な医療サービスを提供できる地域環境を提供していく。

地域医療連携の情報化イメージ



事業名 (区分:(1)-ア-(ア))		(4)子育て世帯への経済的支援				【実施地域】 旭、海上、飯岡、干潟地域
【事業概要】 子育て世帯への経済的負担を軽減し、出生率の向上を図ります。具体的には、1年以上本市に住民登録があり居住している人で、第1子以上を養育し、第2子以上出産して養育する父母に対し、2子に10万円、3子以降に20万円を支給する出産祝金の支給、0歳から中学校3年生までの児童の医療保険適用の医療費の助成や、0歳児、1歳児の乳幼児を養育している人への紙おむつ購入券の支給を行います。						【国県補助事業等】 子ども医療費対策事業補助金 (県:1/2)
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)	
	乳幼児紙おむつ購入券給付件数	1,028件(H26)			増加	
事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)	
	275,579	276,579	277,579	275,079	1,104,816	
【地域間の役割分担に係る基本的な考え】						
<ul style="list-style-type: none"> 旭地域 圏域唯一の産科医療補償制度加入機関である旭中央病院がある地域であり、また小児科が存在する唯一の地域として、チラシ等を配付し、制度の周知を図っていく。 海上、飯岡、干潟地域 制度の周知、情報提供を行っていく。 						



事業名 (区分:(1)-ア-(ア))		(5) 滝郷診療所運営事業				【実施地域】 海上地域
【事業概要】 地域に密着した医療機関として、市直営の滝郷診療所の施設や機能の充実を図るとともに、周辺の医療機関等との連携の促進、利用しやすい環境を整備します。					【国県補助事業等】 国保調整交付金 (直営施設分) 基準額の1/3	
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)	
	かかりつけ医の普及・啓発	—			推進	
事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)	
	792	460	2,149	1,580	4,981	
【地域間の役割分担に係る基本的な考え】						
<ul style="list-style-type: none"> 旭地域 旭中央病院や他の周辺医療機関等との連携を促進し、利用しやすい環境を整備していく。 海上地域 医療・福祉サービスを充実させるため、診療所施設の機能・整備を充実させ、地域に密着した医療機関として、医療サービスを提供していく。 飯岡、干潟地域 周辺医療機関等との連携を促進し、利用しやすい環境を整備していく。 						



滝郷診療所

事業名 (区分:(1)-ア-(ア))		(6)看護学生入学支度金貸付事業				【実施地域】 旭、海上、飯岡、 干潟地域
【事業概要】 圏域内医療機関の機能低下や高齢化の進展に伴う医療需要の増大に対応するため、看護師を確保することにより地域医療の充実を図る。						【国県補助事業等】
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)	
	入学支度金貸付者数	13人(H27)			20人	
事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)	
	8,800	8,800	8,800	8,800	35,200	
【地域間の役割分担に係る基本的な考え】						
<ul style="list-style-type: none"> 旭地域 制度の周知を行い、地域の基幹病院である総合病院国保旭中央病院を中心に、医療スタッフの確保を図る。 海上、飯岡、干潟地域 制度の周知を行い、圏域内医療機関として医療スタッフの確保を図る。 						



旭中央病院附属看護専門学校戴帽式

事業名 (区分:(1)-ア-(ア))	(7) 道路交通網の整備: 市道1-058号線 (旭中央病院アクセス道南北線)	【実施地域】 旭、海上地域
【事業概要】 道路改良工事 L=3.2km W=11.5m 旭中央病院アクセス道(南北線)を整備し、旭中央病院周辺へのアクセスが向上することにより、周辺道路の渋滞緩和、緊急車両の円滑な通行の確保を図る。		【国県補助事業等】 社会資本整備総合交付金事業 (国:55/100)

重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)
	計画路線	—			完成を目指す

事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)
	299,296	200,000	200,000	222,996	922,292

【地域間の役割分担に係る基本的な考え】

- 旭地域

圏域全体での交通利便性の向上や、歩行者の安全確保、将来の発展等を見据えつつ、事業内容・事業効果・優先順位等を総合的に考慮して計画的に実施する。
- 海上、飯岡、干潟地域

事業内容・事業効果・優先順位等を総合的に考慮して計画的に実施する。



事業名
(区分:(1)-ア-(ア))

(8)救急業務高度化事業

【実施地域】

旭、海上、飯岡、
干潟地域

【事業概要】

救急業務高度化に向け、救急救命士の養成（各年度1名）及び高規格救急自動車の計画的な整備を推進する。また、旭中央病院救命救急センターとの連絡機能充実を図るため、携帯電話による音声・映像を活用し救命率向上を図る。

【国県補助事業等】

重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)
	救急講習年間参加者数	1,200人(H26)			1,300人

事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)
	42,655	2,655	42,655	42,655	130,620

【地域間の役割分担に係る基本的な考え】

・旭地域

旭地域では、圏域全体の救急救命士の養成及び高規格救急自動車の整備を計画的に推進する。

また、消防署を生かして本事業を推進することにより、圏域全体の救命率の向上を図る。

・海上、飯岡、干潟地域

現状配置されている海上、飯岡、干潟地域の分署を生かして本事業を推進することにより、圏域全体の救命率の向上を図る。



【形成方針】**(ア) 市民の地域学習支援**

過去から受け継がれてきた自然や歴史・文化資源を守りふるさととして地域の記憶を継承することを目指し、市民による市民のための教育プログラムの検討・実施、食育及び健康教育を推進する施設の設置、ソーシャルビジネスモデル事業の検討など、市民が地域資源を知る機会づくりを進める。

事業名 (区分:(1)-イ-(ア))		(9) 地域子ども教室				【実施地域】 旭、海上、飯岡、干潟地域
【事業概要】 学校や公民館等を利用し、地域住民や指導員を指導者として、子どもたちの放課後や週末におけるスポーツや文化活動、ものづくり活動等の様々な体験活動や地域住民との交流活動を通して、心豊かでたくましい青少年を育てる。						【国県補助事業等】 地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業補助金 (国:1/2)
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)	
	地域子ども教室参加率	38.5%(H26)			40%	
事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)	
	3,620	3,620	3,620	3,620	14,480	
【地域間の役割分担に係る基本的な考え】						
<ul style="list-style-type: none"> 旭、飯岡、干潟地域 情報提供や周知を行うとともに、他地域と連携しながら学習機会の提供を図る。 海上地域 地域子ども教室の内容等について企画・立案をし、情報提供や周知を行うとともに、他地域と連携しながら学習機会の提供を図る。 						



地域子ども教室

事業名 (区分:(1)-イ-(ア))		(10)図書館情報サービス提供事業				【実施地域】 旭、海上、飯岡、 干潟地域
【事業概要】 「蔵書検索システム」と「情報管理システム」が統一されたことにより、市民の利便性が図られているが、「図書館情報システム」をネットワーク化し、図書館と公民館図書室との共通の蔵書管理をすることで、公民館図書室においても図書館と同等のサービスを提供する。						【国県補助事業等】
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)	
	あさひ図書利用カード登録者数	17,899人(H26)			20,000人	
事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)	
	6,000	6,000	6,000	6,000	24,000	
【地域間の役割分担に係る基本的な考え】						
<ul style="list-style-type: none"> ・旭地域 市図書館が、ネットワークの核となって運用を行う。 ・海上地域 海上公民館にネットワーク端末を設置し運用する。 ・飯岡地域 いいおかユートピアセンターにネットワーク端末を設置し運用する。 ・干潟地域 干潟公民館にネットワーク端末を設置し運用する。 						



図書館情報システム

事業名 (区分:(1)-イ-(ア))	(11)文化振興事業	【実施地域】 旭、海上、飯岡、 干潟地域
【事業概要】 市民音楽祭、あさひのまつり等市民参加型事業の実施、プロによるコンサート等質の高い芸術の提供、文化施設使用の助成、あさひ少年少女合唱団補助金の交付等による市民文化活動の支援などにより、市民文化の向上を図る。		【国県補助事業等】

重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)
	市民文化活動の年間観客数	11,871人(H26)			14,000人

事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)
	20,090	20,090	20,090	20,090	80,360

【地域間の役割分担に係る基本的な考え】

- 旭地域
千葉県東総文化会館を主な拠点とし、各種事業の計画や事業拠点の確保等、計画的な運営を図ることにより、圏域全体での市民文化の向上を図る。
- 海上、飯岡、干潟地域
人材の支援や情報提供を行い、地域間相互の交流を図り、連携・協働による事業推進を行う。



あさひ少年少女合唱団



旭市文化祭

事業名 (区分:(1)-イ-(ア))	(12)文化財保護事業	【実施地域】 旭、海上、飯岡、 干潟地域
------------------------------	--------------------	-----------------------------------

【事業概要】

各地区に存在する文化財の保存・維持管理、文化財の所有者や保存会等に補助を行うほか、文化財表示看板の設置、文化財収蔵品の管理、埋蔵文化財の調査を行っていくことで、地域住民等が圏域の文化財を学び理解する機会を創出するなど、次世代へ引き継ぐための取組を行っていく。

【国県補助事業等】

埋蔵文化財緊急調査事業(補助率：国1/2、県1/8)
文化財保存事業(補助率：県1/2)

重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)
	適正に保護・保存されている埋蔵文化財の数	456(H27)			456

事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)
	2,735	2,735	2,735	2,735	10,940

【地域間の役割分担に係る基本的な考え】

- ・旭地区
文化財の保存・維持管理を行うとともに、民俗芸能等文化資源の情報提供を行う。
- ・飯岡地区
飯岡歴史民俗資料館を活用するとともに、民俗芸能等文化資源の情報提供を行う。
- ・海上地区
文化財の保存・維持管理を行うとともに、民俗芸能等文化資源の情報提供を行う。
- ・干潟地区
大原幽学記念館を活用するとともに、民俗芸能等文化資源の情報提供を行う。



文化財の説明を受ける児童

【形成方針】

(ア) **地域資源の再評価と観光振興**

豊かな食文化、丘陵や海岸の自然、歴史資源等を生かした農林水産業の多角化や新たな観光産業振興など地域の産業の活性化を目指し、それぞれ特異な資源を有する当該圏域の各地域が連携して、情報提供や飲食・販売を行う観光・交流の拠点形成、食文化・農業・漁業の体験ができる仕組み・プログラムづくり、外部へのPR等広告・宣伝活動を促進する。

事業名 (区分:(1)ーウー(ア))		(13)観光振興事業				【実施地域】 旭、海上、飯岡、干潟地域
【事業概要】 観光客の増加や地域産業の活性化を目指し、パンフレット等の配布や各種観光宣伝活動、海水浴場の開設や観光イベントへの助成、地域資源や地場製品のイベント、キャンペーンを活用したPR、観光客等が圏域内を周遊できる観光案内看板の設置や仕組みづくり等を実施する。						【国県補助事業等】 千葉県観光地魅力アップ整備事業 (県:2/3補助)
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)	
	宿泊者数	13万8千人(H26)			15万人	
事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)	
	103,703	85,563	80,563	80,563	350,392	
【地域間の役割分担に係る基本的な考え】						
<ul style="list-style-type: none"> ・旭地域 圏域全体の観光施設・観光資源を把握し連携したプログラムづくりを行うとともに、旭市観光物産協会との連携を進め、圏域を訪れる人々との交流の中心機能として情報発信を行い、誘客の総合的な窓口機能を果たす。 ・海上地域 キャンプ場、自然公園、龍福寺等の貴重な自然環境や歴史資産を生かし観光誘致を図る。 ・飯岡地域 漁港、釣宿、灯台、屏風ヶ浦、刑部岬、海洋レクリエーション資源・施設等の集積を生かし、ブルーツーリズムの拠点としての機能の充実・景観形成を図る。 ・干潟地域 「干潟八万石」と呼ばれる農業基盤を生かして農業観光の誘致等を多面的に行う。豊富な湧き水を利用した長熊釣堀センター等、自然環境を利用したレクリエーションの拠点として活用し、また、大原幽学記念館等については、歴史資産を生かした地域学習の拠点としても活用する。 						



事業名 (区分:(1)-ウ-(ア))		(14)成田空港の活用				【実施地域】 旭、海上、飯岡、 干潟地域
【事業概要】 圏域より25km圏内にある国際空港の成田空港を活用するため、成田空港活用協議会等と連携し、魅力ある地域資源や効果的な情報を発信し、産業や観光の振興に取り組む。						【国県補助事業等】
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)	
	活用協議会開催事業への参加人数 (参加事業のみ)	1,600人(H26)			5,000人	
事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)	
	50	50	50	50	200	
【地域間の役割分担に係る基本的な考え】						
<ul style="list-style-type: none"> 旭地区 地区内及び各地区にある観光資源等を編集、とりまとめを行い、成田空港を利用する人が圏域を訪れてみたいと思うような取組を推進していく際に活用し、成田空港活用協議会等と連携し推進していく。 海上、飯岡、干潟地区 各地区内にある特色のある観光資源等を編集、とりまとめを行い、情報提供を行っていく。 						



特産食材を使用したスイーツのPR
(成田空港活用協議会)

【形成方針】

(イ) 農水商工連携による地域の特産品開発

農業者・漁業者・商業者・工業者等が連携して旭の産物を使った特産品の検討・試作品の開発、販売促進・販売ルートの開発、都市圏向けの販売PR・イベント等を行い、地域イメージの向上を目指す。

事業名 (区分:(1)-ウ-イ)	(15)米の力再発見事業	【実施地域】 旭、海上、飯岡、干潟地域
【事業概要】 食生活の多様化により消費量が減少傾向にある米の新たな利用方法を掘り起こすため、米粉製粉機の活用、学校給食へ米粉・米粉麺などの提供、イベント時におけるPR活動、米粉の料理教室開催等により、米粉の特性を生かし、本格的な普及に努める。		【国県補助事業等】

重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)
	米粉・米粉商品の商品化数	1(H27)			2

事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)
	650	650	650	650	2,600

【地域間の役割分担に係る基本的な考え】

- ・旭地域
各地域の中心として全体の調整や取りまとめ、PR拠点の設置・運営を行う。
- ・干潟地域
米粉製粉の拠点として、利用者の増大、各種事業への米粉の提供を行う。
- ・全地域
農商工業者連携のもと、各種産品への米粉の利用促進、イベント時におけるPR活動、米粉の料理教室などを実施する。



親子クッキング

事業名 (区分:(1)-ウ-イ))	(16)こだわり旭ブランド創出支援事業	【実施地域】 旭、海上、飯岡、干潟地域
【事業概要】 圏域の農水産物にブランド価値を備えるため、地域のイメージ・美味しさ・物語性などを取り入れ、商品開発・販路拡大・PR活動を行うなど独創的な手法により“旭の新たな顔”の創出に取り組む組織（団体）の育成・支援を行う。		【国県補助事業等】

重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)
		こだわり旭ブランド創出支援事業での商品化数	0(H27)		

事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)
		2,000	2,000	2,000	2,000

【地域間の役割分担に係る基本的な考え】

- 旭地域
各地域に適合した地場農水産物の生産拡大と、各地域の農水産物を活用したブランド品の創出の取り組みに関する活動支援及び全体の取りまとめを行うとともに、商品のPR活動の拠点機能を果たし、圏域全体での地域ブランド確立を図る。
- 海上、飯岡、干潟地域
各地域に適合した地場農水産物の生産拡大と、各地域の農水産物を活用したブランド品の創出に対する取り組みを重点的に行う。



事業名 (区分:(1)-ウ-(イ))		(17)特産品開発事業				【実施地域】 旭、海上、飯岡、干潟地域
【事業概要】 特産品の開発を促進するとともに、「旭市推奨品（仮称）」として圏域内外に広く情報発信することにより、商品の信頼性と販売・PR等に取り組みながら産業振興を図り、旭市のイメージアップと地域経済の活性化を図る。						【国県補助事業等】
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)	
	旭市推奨品認定数	ー			25品	
事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)	
	5,497	5,497	5,497	5,497	21,988	
【地域間の役割分担に係る基本的な考え】						
<ul style="list-style-type: none"> 旭地域 農業者、商業者、漁業者、工業者等が連携して、旭の産品を使用した特産品の開発及び都市圏向けの販売、周知を図り地域のイメージ向上を目指す。 海上、飯岡、干潟地域 農業者、商業者、漁業者、工業者等が連携し旭の産品を使用した特産品の開発を行う。 						



特産品開発事業

【形成方針】

(ウ) 空き店舗利用などによる中心市街地活性化

中心市街地が、歩いて暮らせるコンパクトな市民生活の中心となるよう多様な機能を集約するとともに、旭を訪れる人々との交流機能の拠点として活性化を図るために、空き店舗を利用したイベント・コミュニティ活動、チャレンジショップの誘致・支援などを推進する。

事業名 (区分:(1)-ウ-(ウ))	(18) 空き店舗利用などによる 中心市街地活性化	【実施地域】 旭、海上、飯岡、 干潟地域
------------------------------	--------------------------------------	-----------------------------------

【事業概要】

空き店舗を利用したイベント・コミュニティ活動の誘致・支援、チャレンジショップ出店の誘致・支援、地元発信型アンテナショップの運営、市民ギャラリー（まちかどギャラリー銀座）の運営等により、中心市街地に多様な機能の集約と人々の交流機能の拠点の構築を図る。

【国県補助事業等】

重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)
	商工会会員数の増加	1,604(H26)			1,650

事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)
	4,943	4,943	4,943	4,943	19,772

【地域間の役割分担に係る基本的な考え】

- ・旭地域
旭駅前・銀座通り商店街等の空き店舗を利用したイベント、コミュニティ活動、チャレンジショップの誘致・支援などを行う。
- ・海上、飯岡、干潟地域
イベント・コミュニティ活動の参加者やチャレンジショップの出店者など、人材の支援を行う。また、農水産物など商品等の提供を行う。



まちかどギャラリー銀座

【形成方針】**(エ) 工業団地への優良企業誘致**

あさひ新産業パーク（あさひ鎌数工業団地）への優良企業の誘致を促進し、工業拠点としての充実を図る。

事業名 (区分:(1)-ウ-(エ))	(19)工業団地内の環境整備による 企業活性化	【実施地域】 旭、干潟地域
【事業概要】 あさひ新産業パーク（あさひ鎌数工業団地）や、さくら台工業団地の環境整備（排水、汚泥処理）を行うことで、立地企業の経済的負担を軽減し、事業の拡大を促し、地域経済の活性化や雇用の創出を推進する。		【国県補助事業等】

重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)
	製造品出荷額等	1,378億円(H26)			1,523億円

事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)
	1,810	1,688	1,880	2,100	7,478

【地域間の役割分担に係る基本的な考え】

・旭地域

工業拠点である既存工業団地「あさひ新産業パーク（あさひ鎌数工業団地）」内の環境整備に対する企業の負担を軽減することにより立地企業の体力強化を促し、雇用の創出を図る。

・海上、飯岡地域

他の地域と連携・協力し、雇用の創出を図る。

・干潟地域

さくら台工業団地内の環境整備に対する企業の負担を軽減することにより立地企業の体力強化を促し、雇用の創出を図る。



あさひ新産業パーク(あさひ鎌数工業団地)

(2) 結びつきやネットワークの強化のための取組

ア 地域公共交通・交通インフラ

【形成方針】

(ア) 交通道路網の改善

地域間連絡の強化を図るとともに、高齢者や障害のある人が安全で安心して歩けるユニバーサルデザイン、わかりやすい案内標識の設置など道路・駅周辺等の環境改善を目指す。

事業名 (区分:(2)-ア-(ア))	(20) 道路交通網の整備:市道1-061号線 (南堀之内バイパス)	【実施地域】 干潟地域
【事業概要】 道路改良工事 L=1.08km W=11.7m 市道1-061号線を整備し、地域間連絡の強化を図るとともに、高齢者や障害のある人が安全で安心して利用できるユニバーサルデザイン、わかりやすい案内標識の設置等の環境改善を図る。		【国県補助事業等】 社会資本整備総合交付金事業 (国:55/100)

重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)
		計画路線	—		

事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)
		16,151	100,000	100,000	60,000

【地域間の役割分担に係る基本的な考え】

・旭地域

圏域全体での交通利便性の向上や、歩行者の安全確保、将来の発展等を見据えつつ、事業内容・事業効果・優先順位等を総合的に考慮して計画的に実施する。

・海上、飯岡、干潟地域

事業内容・事業効果・優先順位等を総合的に考慮して計画的に実施する。



事業名 (区分:(2)-ア-(ア))	(21) 道路交通網の整備: 市道1-060号線 (飯岡海上連絡道)	【実施地域】 海上、飯岡地域
------------------------------	---	--------------------------

【事業概要】
 道路改良工事 L=2.3km W=11.5m
 飯岡海上連絡道三川蛇園線を整備し、地域間連携の強化を図るとともに、高齢者や障害のある人が安全で安心して利用できるユニバーサルデザイン、わかりやすい案内標識の設置等の環境改善を図る。

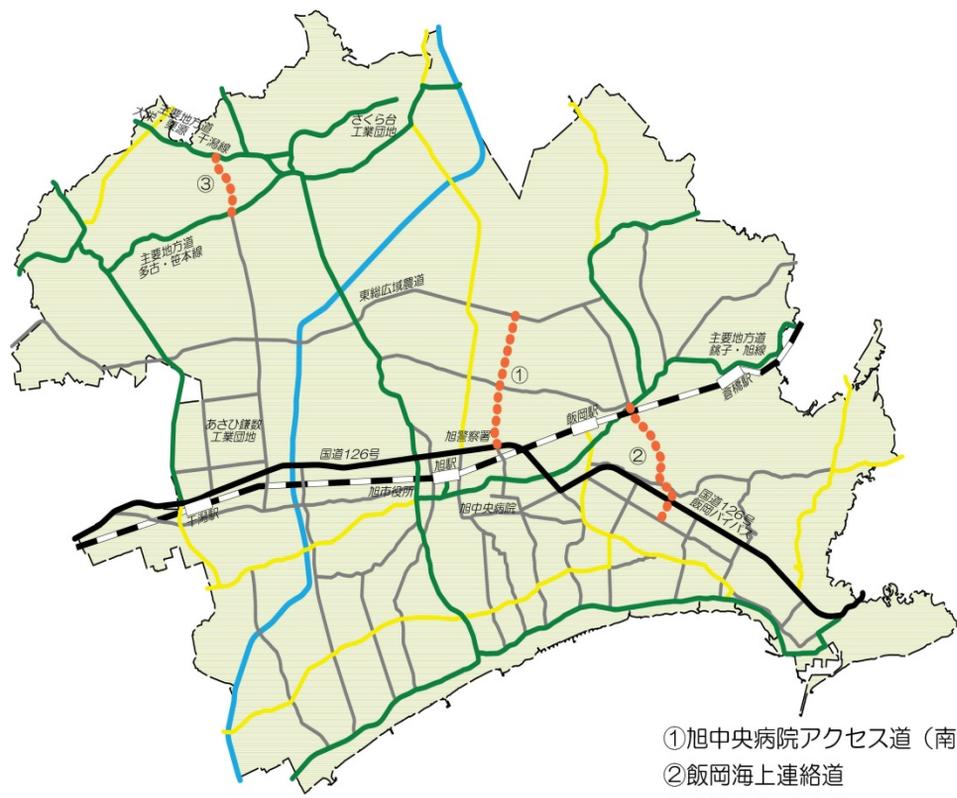
【国県補助事業等】
 社会資本整備総合交付金事業
 (国:55/100)

重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)
		計画路線	—		

事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)
		82,056	819,430	773,830	164,144

【地域間の役割分担に係る基本的な考え】

- ・ 旭地域
 圏域全体での交通利便性の向上や、歩行者の安全確保、将来の発展等を見据えつつ、事業内容・事業効果・優先順位等を総合的に考慮して計画的に実施する。
- ・ 海上、飯岡、干潟地域
 事業内容・事業効果・優先順位等を総合的に考慮して計画的に実施する。



- ①旭中央病院アクセス道（南北線）
- ②飯岡海上連絡道
- ③南堀之内バイパス

【形成方針】

(イ) 公共交通ネットワークの拡充

高齢者や障害のある人など交通弱者への対応や、各地区から中心市街地・公共施設・医療機関への移動手段確保のため、路線の調査・分析を行いながら、コミュニティバスなどにより効率的で利便性の高い公共交通の充実を図る。

事業名 (区分:(2)-ア-(イ))	(22) 地域公共交通の確保に係る取り組み	【実施地域】 旭、海上、飯岡、干潟地域
------------------------------	------------------------------	-------------------------------

【事業概要】 圏域住民の日常生活に不可欠な交通手段を確保し、地域間の交流及び福祉を増進するために、コミュニティバスの運行、車両更新、公共交通の利用促進、新たな交通システムの検討、地域公共交通会議の運営等により、地域の実情に応じた長期的に持続可能な公共交通の確保を図る。	【国県補助事業等】 地域公共交通確保維持事業（経費の1/2）※干潟地区ルートのみ
--	--

重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)
		旭市コミュニティバス平日1日あたりの利用者数	9.4人(H26)		

事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)
		59,721	64,775	64,775	47,075

【地域間の役割分担に係る基本的な考え】

- 旭地域

圏域全体の拠点として、全体の運行計画の作成やルート管理を行い、各路線間の乗り継ぎ調整、交通結節機能の強化を図る。また、すべての路線が鉄道駅及び旭中央病院を経由することにより、ターミナルの機能を果たす。
- 海上、飯岡、干潟地域

地域の実情、ニーズに即した効率的で利用しやすい地域公共交通の確立のため、中心市街地・公共施設・医療機関への移動手段の確保を図る。



旭市コミュニティバス 時刻表

- 平成27年2月14日現在 -

※ ボイヤーの一部が変更となりました。

※ 停留所が新設されました。

【旭市・干潟地区ルート及び干潟地区以外】

運行日 毎日運行(年末年始(12/28~1/3を除く))

料 金 100円(1利用につき)

○お問い合わせ先

旭市役所 企画課 旭市コミュニティバス課 旭市 0478-82-8307

干潟交通課 旭市 0478-22-8488

干潟交通課 旭市 0478-22-0122

旭市コミュニティバス課(干潟地区) 旭市 0478-22-0122

旭市コミュニティバス

【形成方針】

(ア) 地場産品の地域内PR・販売

充実した食材に恵まれる旭市において、農水産物直売施設等地元の人が地元の産品を消費できる場を創出し、地元消費者のニーズに的確に応えるとともに、旭市の食文化の理解を深めることを目指す。また、地域内流通やコミュニティの促進を図る。

さらに、都市圏において、特産品の販売や景観・歴史・文化等各種地域資源のPR・宣伝活動または販売ルートの開発を促進する活動を推進・支援する。

事業名 (区分:(2)-イ-(ア))	(23) 農業活性化推進事業 (2)-ウ-(ウ)、(3)-ア-(ア)へも掲載					【実施地域】 旭、海上、飯岡、干潟地域
【事業概要】						【国県補助事業等】
旭市農産物のPR活動を始め、食育・地産地消の推進や異業種交流活動への支援、新たな作物や有機栽培等の取り組みへの助成等を通じて地域農業の活性化を図る。また、都市圏において、試験的に販売ブース等を設置し、特産品の販売や景観・歴史・文化等各種地域資源のPR・宣伝活動または販売ルートの開発を促進する活動を推進・支援する。						
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)	
	農業算出額	424億円(H25)			440億円	
事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)	
	916	916	916	916	3,664	
【地域間の役割分担に係る基本的な考え】						
<ul style="list-style-type: none"> ・旭地域 <p style="margin-left: 20px;">充実した食材の提供、新たな作物や栽培方式等の取り組みを推進するとともに、PR活動、食育・地産地消、交流等の活動の中心として総合的に当該事業を推進する。</p> ・海上、飯岡、干潟地域 <p style="margin-left: 20px;">各地域の充実した食材の提供、新たな作物や栽培方式等の取り組みを推進する。</p> 						



地場産品PR(群馬県高崎市)

事業名 (区分:(2)-イ-(ア))	(24)道の駅季楽里あさひ管理	【実施地域】 旭地域
------------------------------	------------------------	----------------------

【事業概要】
 旭ブランドの発信の拠点として、シティセールスを行うとともに、地産地消の推進、地域ブランドの確立、地域交流、各種体験、観光情報の発信など、地産地消の活性化に資する施設としての事業を推進するため、「道の駅季楽里あさひ」の管理を行う。

【国県補助事業等】

重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)
	道の駅「季楽里あさひ」年間売上額	3億7千万円(半年) (H26)			5億2千万円

事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)
	1,630	1,630	1,630	1,630	1,630

【地域間の役割分担に係る基本的な考え】

- ・旭地域
 圏域全体での地産地消、産地PR及び情報発信の場として、直売施設等の総合的な管理を行い、消費者ニーズに対応した各種取組の推進を行う。
- ・海上、干潟地域
 旭地域と連携するとともに、各地域の充実した農産物やその他製品を提供する。
- ・飯岡地域
 旭地域と連携するとともに、各地域の充実した農水産物やその他製品を提供する。



道の駅季楽里あさひ



【形成方針】

(ア) 市内周縁部における交流事業の推進

貴重な自然環境や歴史資産が残る市内緑地系ゾーン等を環境・地域史教育の拠点とし、市内都市部との積極的な交流を図る。

事業名 (区分:(2)-ウ-(ア))		(25) 医療福祉・食・交流の郷づくり事業				【実施地域】 干潟地域
【事業概要】 圏域外の交流人口の増加を目指し、都市部の生協団体、子ども会、一般参加家族を招き、国指定史跡「幽学の田」で年4回農業体験（田植え・生き物調査・稲刈り体験・収穫祭）を実施する。						【国県補助事業等】
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)	
	幽学の里で米作り 交流事業参加者数	1,137人(H26)			1,200人	
事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)	
	1,000	1,000	1,000	1,000	4,000	
【地域間の役割分担に係る基本的な考え】						
<ul style="list-style-type: none"> ・旭地域 積極的な農業交流を推進するとともに、圏域外に向けた情報発信を行い、交流人口の増加を図る。 ・海上、飯岡地域 干潟地域と連携し、積極的な農業交流を推進する。 ・干潟地域 農業交流の拠点として、国指定史跡「幽学の田」で交流事業を実施する。 						



幽学の里で米作り交流



事業名 (区分:(2)-ウ-(ア))	(26)大原幽学遺跡史跡公園管理	【実施地域】 干潟地域
------------------------------	-------------------------	-----------------------

【事業概要】 国指定史跡である大原幽学遺跡を中心とする史跡公園について、文化財の保護と併せ、市民が文化に触れ、憩いの場となるよう維持管理及び整備を行うとともに、情報発信やPR等を行い、地域文化の継承及び圏域内外の住民との交流を推進する。	【国県補助事業等】 文化財保存事業 (国:50/100以内、 県:25/100以内)
--	--

重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)
	大原幽学記念館の年間入館者数	5,175人(H26)			6,000人

事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)
	13,883	14,500	30,000	50,000	108,383

【地域間の役割分担に係る基本的な考え】

- 旭、海上、飯岡地域
 干潟地域と連携し、圏域内外への情報発信やPR等を行うことにより、地域文化の継承および交流人口の増加を図る。
- 干潟地域
 遺跡史跡公園の保存・維持管理を適切に行い、更に整備を進めるとともに、旭、海上、飯岡地域及び関係団体・機関と連携しながら情報発信やPR等を行い、地域文化の継承及び圏域内外の住民との交流を推進する。



大原幽学遺跡史跡公園

【形成方針】

(イ) 観光資源の編集

地域資源のデータベース構築やデジタルアーカイブ化及びガイド誌・インターネットを活用した広告・宣伝など観光者向けの情報発信の企画・調査・編集等の推進・支援を行う。

事業名 (区分:(2)ーウー(イ))		(27)イメージアップキャラクター等活用事業				【実施地域】 旭、海上、飯岡、 干潟地域
【事業概要】 旭市のイメージアップキャラクター「あさピー」を活用した市の魅力のPR活動、旭市にゆかりの漫画家ちばてつや先生の漫画キャラクターにちなんだパークゴルフ大会（向太陽杯）、観光大使（旭市出身の演歌歌手椎名佐千子）を活用し、旭市の自然、歴史、文化など地域資源を総合的に活用して構築する「旭ブランド」を圏域外に発信することにより市の活性化を図る。また、様々な観光資源を情報発信し、全国での「旭ブランド」の認知度・好感度アップと、旭への来訪者の増加を図る。						
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)	
	交流人口(しおさいマラソン大会、向太陽杯、幽学の里で米作り交流)	7,383人(H26)			7,700人	
事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)	
	4,907	3,848	3,848	3,848	16,451	
【地域間の役割分担に係る基本的な考え】 ・旭地域 圏域全体の活動拠点として、多様な媒体・方法により圏域内外へ「旭ブランド」、観光等の情報を発信する。 ・海上、飯岡、干潟地域 それぞれの地域における農水産物等のブランド力強化を図り、「旭ブランド」の構築を行う。						



イメージアップキャラクター「あさピー」



向太陽杯パークゴルフ大会

事業名 (区分:(2)-ウ-(イ))		(28)観光情報発信事業				【実施地域】 旭、海上、飯岡、 干潟地域
【事業概要】 観光PR用ポスターや観光ガイド等の作成、地域資源のデータベースの構築、ホームページの観光情報のリニューアル、観光のルートやテーマの設定等により、観光客のニーズに即した観光資源情報の発信を行う。						【国県補助事業等】
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)	
	観光入込客数	113万8千人(H26)			125万人	
事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)	
	8,688	8,688	8,688	8,688	34,752	
【地域間の役割分担に係る基本的な考え】						
<ul style="list-style-type: none"> 旭地域 旭市観光物産協会と連携し、地域資源の編集をとりまとめ、市民活動、情報収集、情報発信の拠点づくりを進める。 海上、飯岡、干潟地域 各地域の観光資源の編集を行い、地域からの人材の支援、協働による活動の推進を図る。 						



飯岡灯台から見る夜景

【形成方針】

(ウ) 都市圏における販売・PRイベント、PR機能設置

都市圏において試験的に販売ブース等を設置し、特産品の販売や景観・歴史・文化等各種地域資源のPR・宣伝活動または販売ルートを開発を促進する活動を推進・支援する。

事業名
(区分:(2)-ウ-(ウ))

(23) 農業活性化推進事業(再掲)

(2)-イ-(ア) 参照



農産物の販売・PR活動(千葉市)

【形成方針】

(エ) 地域内交流の促進、コミュニティ力の育成

地域づくりに対して積極的な活動を行っている住民又は参画意志をもった住民が交流・活動できる場を支援し、さらに広く市民による新たな活動・活力を創出する場として市民によるワークショップやフィールド調査等の開催を推進する。

事業名 (区分:(2)ーウー(エ))	(29) 出会いの場創出事業	【実施地域】 旭、海上、飯岡、干潟地域
------------------------------	-----------------------	-------------------------------

【事業概要】 圏域内の後継者の結婚対策として、旭市後継者対策協議会（出会いコンシェルジュ）を設置し、機会・出会いの場が少ない男女に、結婚のきっかけとなる機会の提供やセミナー等を開催し、独身男女の結婚活動を推進・支援し、若者の定住化や活力のあるまちづくりを促進する。	【国県補助事業等】
--	------------------

重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)
	年間婚姻数(出会いの場創出事業)	10件(H26)			15件

事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)
	1,516	1,516	1,516	1,516	6,064

【地域間の役割分担に係る基本的な考え】 ・旭地域 出会いコンシェルジュを設置し、各地域と連携しながら、年間を通して独身男女が望む出会いの場やセミナー等を企画・運営する。また、当該事業を総合的に推進するとともに、地域間の情報共有の促進を図る。 ・海上、飯岡、干潟地域 出会いコンシェルジュを通して、地域内の対象となる独身男女の把握に努め、対象者やその家族に対する情報提供、イベント等への参加の促進を図る。
--



事業名 (区分:(2)-ウー(エ))		(30) 育児支援事業				【実施地域】 旭、海上、飯岡、 干潟地域
【事業概要】 両親学級や子育て学級、育児相談や発達相談等、安心して育児に取り組めるよう、相談支援体制を整えるとともに、同じ悩みや不安を抱える親子が交流でき、育児の仲間づくりを支援し、子育ての悩みや不安の軽減を図る。						【国県補助事業等】
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)	
	子育てが楽しいと感じている保護者の割合	90.4%(H27)			92%	
事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)	
	1,876	1,876	1,876	1,876	7,504	
【地域間の役割分担に係る基本的な考え】 <ul style="list-style-type: none"> 旭、海上、干潟地域 飯岡保健センターでの育児支援事業を通じ、地域を越えた保護者同士の交流を支援する。 飯岡地域 拠点である飯岡保健センターにおいて、各種学級、相談を実施し、事業参加を通して保護者同士の交流を促進し、育児の仲間づくりを支援する。 						



子育て学級

事業名 (区分:(2)-ウ-(エ))		(31) 移住・定住促進事業				【実施地域】 旭、海上、飯岡、干潟地域
【事業概要】 圏域内への移住・定住促進事業を実施し、人口増加や人口減少の緩和に資することで圏域内の活力を高める。						【国県補助事業等】
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)	
	累計転入世帯数 (定住促進奨励金 交付事業)	67世帯(H26)			267世帯	
事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)	
	20,000	20,000	20,000	20,000	80,000	
【地域間の役割分担に係る基本的な考え】						
<ul style="list-style-type: none"> 旭地域 中心地域として圏域全体のPR及び都市機能の集積を生かした移住・定住促進活動を実施する。 海上、飯岡、干潟地域 各地域の資源や施設等の情報提供により、圏域全体の魅力アップを図る。 						



移住相談会の様子



定住促進奨励金で転入を促進

事業名 (区分:(2)-ウ-エ)	(32)産業まつり事業	【実施地域】 旭、海上地域
----------------------------	--------------------	-------------------------

【事業概要】
 多種多様な団体、商業者、企業等が産物、商品等を販売・PRし、消費者側をも含め、圏域内はもとより、圏域外の人々とも交流を図りつつ、旭市の産業の振興を図る。

【国県補助事業等】

重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)
	産業まつり来場者数		70,000人 (2会場合計) (H27)		

事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)
		6,000	6,000	6,000	6,000

【地域間の役割分担に係る基本的な考え】

- 旭、海上地域
 産業まつりの開催地として、他地域と連携して企画・運営を総括的に行う。
- 飯岡、干潟地域
 各地域より産業まつり開催のため出店及び人材の支援を行う。



いきいき旭・産業まつり
 ふるさとまつり・ひかた

海上産業まつりでの餅投げ

事業名 (区分:(2)-ウ-エ)	(33)スポーツによる市民の絆づくり支援事業 (市民体育祭等の開催)	【実施地域】 旭、海上、飯岡、 干潟地域
----------------------------	--	-----------------------------------

【事業概要】
市民総参加の「旭市民体育祭」を千葉県総合スポーツセンター東総運動場において開催し一体感の醸成を図るとともに、地域におけるスポーツ大会の自主的開催に対して支援を行う。

【国県補助事業等】

重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)
	スポーツ大会の年間参加者数	12,114人(H26)			12,500人

事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)
	8,179	8,179	8,179	8,179	32,716

【地域間の役割分担に係る基本的な考え】

- ・旭地域
圏域内の地区体育祭、スポーツ大会等の自主的開催について支援を行う。
また、他地域と連携して「旭市民体育祭」の企画・運営を総括的に行う。
- ・海上、飯岡地域
地区体育祭、スポーツ大会等の自主的開催を積極的に推進するとともに、「旭市民体育祭」の参加・運営についての協力を行う。
- ・干潟地域
地区体育祭、スポーツ大会等の自主的開催を積極的に推進するとともに、東総運動場を「旭市民体育祭」の会場とし、参加・運営についての協力を行う。



市民体育祭

事業名 (区分:(2)ーウー(エ))	(34)地域子育て支援拠点事業	【実施地域】 旭、海上、 干潟地域
------------------------------	------------------------	--------------------------------

【事業概要】

子育て支援センターとつどいの広場を統合した「旭市子育て支援センターハニカム」を設置し、子育てに関する相談や情報提供、身近で気軽に親子が交流できる場を提供することで、子育ての悩みや不安の軽減・解消を図る。

また、子育てコーディネーターを配置し、相談事業や情報提供のほか利用者支援事業に取り組み、子育て支援の充実を図る。

【国県補助事業等】

子ども・子育て支援交付金(国:1/3、
 県:1/3)

重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)
	保育所等を利用していない子育て世帯の保育サービスの利用者数	11,355人(H26)			増加

事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)
	39,003	39,003	39,003	39,003	156,012

【地域間の役割分担に係る基本的な考え】

・旭地域

「旭市子育て支援センターハニカム」を設置し、他の支援センターと連携を図りながら、子育てについての相談や情報提供、また親子のふれあいや保護者同士の交流など、子育てサークル活動等の支援等を行う。

・海上、干潟地域

基幹センターである「旭市子育て支援センターハニカム」との連携を図りながら、子育てに関する支援を行う。



旭市子育て支援センターハニカム

事業名 (区分:(2)ーウー(エ))	(38)まちづくり活動の支援(再掲)
------------------------------	---------------------------

(3)ーアー(イ) 参照

【形成方針】

(ア) 中心都市機能強化及び賑わいの確保

旭駅周辺地区を圏域の広域的な中心商業・業務地として位置づけ、広域商業機能、行政機能、文化機能、都市型レジャー機能等の集積を推進し、中心都市機能の強化を図る。
 また、中心地域が有する既存の都市機能集積を生かし、地域間の適切な機能分担と、それらが連携する一体的な都市づくりを推進する。

事業名 (区分:(2)-エ-(ア))		(35)旭市新庁舎建設事業				【実施地域】 旭地域
【事業概要】 行政機能の集約による市民の利便性向上と防災拠点機能を整備し、都市機能の強化を図るため、合併後、分散化している行政機能を集約し、かつ老朽化し耐震性のない庁舎を移転のうえ、新築する。移転先は、幹線道路とのアクセス性が高く、他の行政機関とも近接することから、中心都市機能強化が図られる。						【国県補助事業等】
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)	
	新庁舎完成	—			完成を目指す	
【地域間の役割分担に係る基本的な考え】 ・旭地域 圏域の中心として、行政機能を集約することで圏域全体の行政サービスを効率的に提供する。 ・海上、飯岡、干潟地域 地域ごとに各種届出及び諸証明機能をもった窓口を設け、地域住民の利便性を図る。						

(3) 圏域マネジメント能力の強化のための取組

ア 人材の育成・交流

【形成方針】

(ア) 地域の達人を中心とする異業種交流の推進

農業者、漁業者、商業者、工業者、伝統文化の継承者、学生等多様な異業種間の交流を積極的に促進し、地域教育・コミュニティの育成や連携を図る。

事業名 (区分:(3)-ア-(ア))		(36) 異業種交流の推進				【実施地域】 旭、海上、飯岡、干潟地域
【事業概要】 異業種間交流を通じ新たな事業展開を促し、産業の振興と地域経済の活性化を図るため、旭市地域振興交流会など様々な講演会・交歓会を開催する。						【国県補助事業等】
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)	
	地域振興交流会への参加者数	139人(H27)			300人	
事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)	
	588	588	588	588	2,352	
【地域間の役割分担に係る基本的な考え】						
<ul style="list-style-type: none"> 旭地域 商業、工業、教育といった都市的機能の集積地として、講演会・交歓会の企画・運営を行い、圏域内の事業者、関係団体等に事業参加の働きかけを行う。 海上、飯岡、干潟地域 地域内の事業者等に情報提供を行い、事業参加を促すとともに積極的な交流の推進を行う。 						

事業名 (区分:(3)-ア-(ア))	(23) 農業活性化推進事業
(2)-イ-(ア) 参照	

【形成方針】

(イ) 市民活動支援の拡充

既存地域づくり市民団体の活動支援はもとより、さらなる市民活動の活性化を目指し、活動の場づくりや運営体制の検討・支援の拡充を促進する。

事業名 (区分:(3)-ア-(イ))	(37) 生きがいづくり支援事業	【実施地域】 旭、海上、飯岡、干潟地域
【事業概要】 高齢者が生き生きと活動し、交流と活力の推進を図っていくため、生きがいと健康づくりに資する活動の場づくりを支援する。具体的には、老人クラブ活動への支援、シルバー人材センターへ助成を行い、高齢者の能力活動や社会参加への援助、また、長きにわたり社会に貢献してきた高齢者を招待する敬老大会を開催する。		【国県補助事業等】 高齢者地域福祉推進事業補助金 (県:2/3)

重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)
		老人クラブ会員数	2,033人(H26)		

事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)
		13,721	13,721	13,721	13,721

【地域間の役割分担に係る基本的な考え】

・旭地域

事業拠点として、関係団体等と連携・協力し情報提供等に努めるとともに、組織の活性化を図る。

・海上、飯岡、干潟地域

情報収集や啓発に努め、拠点地域と連携し参加人数の増加を図る。

老人クラブのない干潟地域については、他地域と連携協力し設置を促進する。



敬老大会



老人クラブ活動
(花いっぱいボランティア)

事業名 (区分:(3)-ア-(イ))		(38)まちづくり活動の支援 (2)-ウ-(エ)、(3)-ア-(ウ)へも掲載				【実施地域】 旭、海上、飯岡、 干潟地域
【事業概要】 市民の連帯感の醸成や元気で活力ある協働のまちづくりを促進することを目的に、市民自らの企画提案による創意と工夫あふれる公益活動に対し「市民まちづくり活動支援事業補助金」を交付する。また、市民まちづくり活動団体として、登録した団体へ活動を促進するための情報提供等を行う。						【国県補助事業等】
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)	
	市民まちづくり補助金交付団体	14団体(H26)			維持	
事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)	
	3,093	3,093	3,093	3,093	12,372	
【地域間の役割分担に係る基本的な考え】						
<ul style="list-style-type: none"> ・旭地域 「市民まちづくり活動支援事業補助金」の申請受付及び審査を行い、地域づくり市民団体の設立支援や活動支援を行う。 また、圏域内各地域の市民団体及び市民活動の連携強化を図るための、情報提供を行う。 ・海上、飯岡、干潟地域 各地域の活動を支援し、また、各地域の垣根を越えた市民活動への参画・協働を推進する。 						



金環日食鑑賞撮影会

【形成方針】**(ウ) 視察、研修、交流等による能力育成**

地域の課題に向き合い、その解決に向けた方法論を開発し、公共的な解決力及び調整力を有する人材を育成するために、他地域の視察、研修、次世代若者との交流等を通じて知識・能力・モチベーションの向上を図る。

事業名 (区分:(3)-ア-(ウ))	(39) 青少年野外学習の推進 (海上キャンプ場の活用)	【実施地域】 海上地域
【事業概要】 年間を通じて海上キャンプ場を開設し、宿泊・デイキャンプ等の野外活動体験、レクリエーションや研修の場として市内外からの利活用を図る。また、滝のさと自然公園が隣接しているため、スポーツ広場としての利活用も図っていく。		【国県補助事業等】

重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)
	海上キャンプ場利用者数	4,079人(H27)			4,000人

事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)
	13,000	13,000	13,000	13,000	52,000

【地域間の役割分担に係る基本的な考え】

- 旭、飯岡、干潟地域

施設利用者の増加を図るため、市内外に広くPRし、観光ルートに位置づけ、交流施設としての啓発に取り組み、世代間交流又は地域間交流としての利活用を推進する。

- 海上地域

海上キャンプ場を野外活動の活動拠点とし、近隣施設と連携し、交流施設としての活用と啓発に取り組む。管理・運営を行う。



海上キャンプ場

事業名 (区分:(3)-ア-(ウ))	(40)消費者保護対策事業	【実施地域】 旭、海上、飯岡、干潟地域
【事業概要】 市民の消費生活の安全確保のため、消費生活センターで苦情の処理、あっせん等を行うとともに、相談員の研修の充実により能力向上を図ります。また、消費者被害の未然防止のため、消費生活に関する情報の提供や消費生活講座を開催していきます。さらに、ボランティアによる消費生活サポーターを育成し、連携しながら消費者保護対策を推進していきます。		【国県補助事業等】 千葉県消費者行政推進事業費補助金(県:該当事業の10/10)

重要業績評価指標(KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)
	消費生活サポーターの登録者数	40人(H26)			70人

事業費(単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)
	7,139	7,139	7,139	7,139	28,556

【地域間の役割分担に係る基本的な考え】

- ・旭地域
 消費者被害の救済とともに、地域から消費者被害を無くすため、消費生活サポーターと協働で被害情報の伝達や、消費生活センターの周知に取り組む。
- ・海上、飯岡、干潟地域
 消費生活サポーターに登録することで被害情報の伝達や消費生活センターの周知に取り組む。



事業名 (区分:(3)-ア-(ウ))		(41)多重債務問題関係職員研修				【実施地域】 旭地域
【事業概要】 返済しきれない借金等に悩む市民の生活再建や、消費生活センターへの案内など、多重債務問題を理解することで、職員が常に同じ姿勢で対応するよう職員への研修を実施します。						【国県補助事業等】
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	H29年度	H30年度	目標値(H31年度)	
	多重債務相談件数	50(H27)			60	
事業費 (単位:千円)	H28	H29	H30	H31	計(H28~H31)	
	40	40	40	40	160	
【地域間の役割分担に係る基本的な考え】						
<ul style="list-style-type: none"> 旭地域 多重債務問題を的確に把握し、研修の企画・実施を通じて職員の意識向上に取り組み、市民の生活再建を促進する。 海上、飯岡、干潟地域 研修等を通じて職員の意識向上と市民の生活再建を促進する。 						



多重債務問題関係職員研修

事業名 (区分:(3)-ア-(ウ))	(38)まちづくり活動の支援
(3)-ア-(イ) 参照	

7. 第2次共生ビジョン事業一覧

(1) 生活機能の強化のための取組

区分	形成方針	事業番号	事業名	地域名	事業費(千円)					国県補助事業等
					H28	H29	H30	H31	計	
ア. 医療・福祉	(ア)旭中央病院を核とした地域医療・福祉の充実と健康・安心のまちづくり	(1)	旭市生涯活躍のまち構想	旭地域	9,720	10,000	10,000	10,000	39,720	
		(2)	地域包括支援センター運営事業及び在宅介護支援センター運営事業	旭、海上、飯岡、干潟地域	7,660	7,660	7,660	7,660	30,640	国、県地域支援事業交付金(国39/100、県19.5/100)
		(3)	ICTを活用した地域連携の推進	旭、海上、飯岡、干潟地域	2,000	2,000	2,000	2,000	8,000	
		(4)	子育て世帯への経済的支援	旭、海上、飯岡、干潟地域	275,579	276,579	277,579	275,079	1,104,816	子ども医療費対策事業補助金(県1/2)
		(5)	滝郷診療所運営事業	海上地域	792	460	2,149	1,580	4,981	国保調整交付金(直営施設分)基準額の1/3
		(6)	看護学生入学支度金貸付事業	旭、海上、飯岡、干潟地域	8,800	8,800	8,800	8,800	35,200	
		(7)	道路交通網の整備・市道1-058号線(旭中央病院アクセス道南北線)	旭地域	299,296	200,000	200,000	222,996	922,292	社会資本整備総合交付金事業(国55/100)
		(8)	救急業務高度化事業	旭、海上、飯岡、干潟地域	42,655	2,655	42,655	42,655	130,620	
イ. 教育	(ア)市民の地域学習支援	(9)	地域子ども教室	旭、海上、飯岡、干潟地域	3,620	3,620	3,620	3,620	14,480	地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業補助金(1/2)
		(10)	図書館情報サービス提供事業	旭、海上、飯岡、干潟地域	6,000	6,000	6,000	6,000	24,000	
		(11)	文化振興事業	旭、海上、飯岡、干潟地域	20,090	20,090	20,090	20,090	80,360	
		(12)	文化財保護事業	旭、海上、飯岡、干潟地域	2,735	2,735	2,735	2,735	10,940	埋蔵文化財緊急調査事業(国1/2、県1/8)文化財保存事業(県1/2)
ウ. 産業振興	(ア)地域資源の再評価と観光振興	(13)	観光振興事業	旭、海上、飯岡、干潟地域	103,703	85,563	80,563	80,563	350,392	千葉県観光地魅力アップ整備事業(県2/3)
		(14)	成田空港の活用	旭、海上、飯岡、干潟地域	50	50	50	50	200	
	(イ)農水商工連携による地域の特産品開発	(15)	米の力再発見事業	旭、海上、飯岡、干潟地域	650	650	650	650	2,600	
		(16)	こだわり旭ブランド創出支援事業	旭、海上、飯岡、干潟地域	2,000	2,000	2,000	2,000	8,000	
	(17)	特産品開発事業	旭、海上、飯岡、干潟地域	5,497	5,497	5,497	5,497	21,988		
	(ウ)空き店舗利用などによる中心市街地活性化	(18)	空き店舗利用などによる中心市街地活性化	旭、海上、飯岡、干潟地域	4,943	4,943	4,943	4,943	19,772	
(エ)工業団地への優良企業誘致	(19)	工業団地内の環境整備による企業活性化	旭、干潟地域	1,810	1,688	1,880	2,100	7,478		

(2) 結びつきやネットワークの強化のための取組

区分	形成方針	事業番号	事業名	地域名	事業費(千円)					国県補助事業等
					H28	H29	H30	H31	計	
ア. 地域公共交通・交通インフラ	(ア)交通道路網の改善	(20)	道路交通網の整備・市道1-061号線(南堀之内バイパス)	干潟地域	16,151	100,000	100,000	60,000	276,151	社会資本整備総合交付金事業(国55/100)
		(21)	道路交通網の整備・市道1-060号線(飯岡海上連絡道)	海上、飯岡地域	82,056	819,430	773,830	164,144	1,839,460	社会資本整備総合交付金事業(国55/100)
	(イ)公共交通ネットワークの拡充	(22)	地域公共交通の確保に係る取り組み	旭、海上、飯岡、干潟地域	59,721	64,775	64,775	47,075	236,346	地域公共交通確保維持事業(経費の1/2)※干潟地区ルートのみ
イ. 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消	(ア)地場産品の地域内PR・販売	(23)	農業活性化推進事業	旭、海上、飯岡、干潟地域	916	916	916	916	3,664	
		(24)	道の駅季楽里あさひ管理	旭地域	1,630	1,630	1,630	1,630	6,520	
ウ. 地域内外の住民との交流・移住推進	(ア)市内周縁部における交流事業の推進	(25)	医療福祉・食・交流の郷づくり事業	干潟地域	1,000	1,000	1,000	1,000	4,000	
		(26)	大原幽学遺跡史跡公園管理	干潟地域	13,883	14,500	30,000	50,000	108,383	文化財保存事業(国50/100以内、県25/100以内)
	(イ)観光資源の編集	(27)	イメージアップキャラクター等活用事業	旭、海上、飯岡、干潟地域	4,907	3,848	3,848	3,848	16,451	
		(28)	観光情報発信事業	旭、海上、飯岡、干潟地域	8,688	8,688	8,688	8,688	34,752	
	(ウ)都市圏における販売・PRイベント、PR機能設置	再掲	(23)農業活性化推進事業						0	
		(29)	出合いの場創出事業	旭、海上、飯岡、干潟地域	1,516	1,516	1,516	1,516	6,064	
	(エ)地域内交流の促進、コミュニティの育成	(30)	育児支援事業	旭、海上、飯岡、干潟地域	1,876	1,876	1,876	1,876	7,504	
		(31)	移住・定住促進事業	旭、海上、飯岡、干潟地域	20,000	20,000	20,000	20,000	80,000	
		(32)	産業まつり事業	旭、海上地域	6,000	6,000	6,000	6,000	24,000	
		(33)	スポーツによる市民の絆づくり支援事業(市民体育祭等の開催)	旭、海上、飯岡、干潟地域	8,179	8,179	8,179	8,179	32,716	
(34)		地域子育て支援拠点事業	旭、海上、干潟地域	39,003	39,003	39,003	39,003	156,012	子ども・子育て支援交付金(国1/3、県1/3)	
再掲	(38)まちづくり活動の支援						0			
エ. 都市機能強化	(ア)中心都市機能強化及び賑わいの確保	(35)	旭市新庁舎建設事業	旭地域					0	

(3) 圏域マネジメント能力の強化のための取組

区分	形成方針	事業番号	事業名	地域名	事業費(千円)					国県補助事業等
					H28	H29	H30	H31	計	
ア. 人材の育成・交流	(ア)地域の達人を中心とする異業種交流の推進	(36)	異業種交流の推進	旭、海上、飯岡、干潟地域	588	588	588	588	2,352	
		再掲	(23)農業活性化推進事業						0	
	(イ)市民活動支援の拡充	(37)	生きがいづくり支援事業	旭、海上、飯岡、干潟地域	13,721	13,721	13,721	13,721	54,884	高齢者地域福祉推進事業補助金(県2/3)
		(38)	まちづくり活動の支援	旭、海上、飯岡、干潟地域	3,093	3,093	3,093	3,093	12,372	
	(ウ)視察、研修、交流等による能力育成	(39)	青少年野外学習の推進(海上キャンプ場の活用)	海上地域	13,000	13,000	13,000	13,000	52,000	
		(40)	消費者保護対策事業	旭、海上、飯岡、干潟地域	7,139	7,139	7,139	7,139	28,556	千葉県消費者行政推進事業費補助金
		(41)	多重債務問題関係職員研修	旭地域	40	40	40	40	160	
	再掲	(38)まちづくり活動の支援						0		

【分野別事業費計】

取組分野		事業費(千円)				
		H28	H29	H30	H31	計
取組分野	(1) 生活機能の強化のための取組	797,600	640,990	678,871	699,018	2,816,479
	(2) 結びつきやネットワークの強化のための取組	265,526	1,091,361	1,061,261	413,875	2,832,023
	(3) 圏域マネジメント能力の強化のための取組	37,581	37,581	37,581	37,581	150,324
合計		1,100,707	1,769,932	1,777,713	1,150,474	5,798,826



旭市イメージアップキャラクター
あさピー

